

【指導の狙い】

文章に書かれている事柄を基に、今までの体験や読書の経験と結び付けて自分の考えをもつことができるようにする。

【問題の概要】

B3三 読みたい本を一冊選択し、その本を選択した理由を書く。

【学習指導要領における領域・内容】

〔第2学年及び第3学年〕「B 書くこと」イ、〔第1学年〕「C 読むこと」オ

【授業アイデア例】

学習の流れ

これまでに読んだ本の中から、特に印象に残る数冊を選び、その本を選んだ理由などについてまとめ、今までの読書傾向を確認する。
(第1時)

互いの読書傾向について友達と情報交換し、これから読みたい本のブックリストを作成する。
(第2時、第3時)

ブックリストの中から実際に一冊を読み、感想を書く。
(第4時)

(言語活動) これから読みたい本のブックリストを作成し、本を読む。

教材例

- 教科書にある読書案内、地域や学校で作成したブックリスト、インターネット上の本の紹介 など

第2時、第3時 ※学校図書館で行う。

〈授業前の教師の準備〉

B3三についての生徒の解答の状況を「解答類型」(解説資料中学校国語 平成二十三年九月)に照らして把握する。特に、以下の解答類型の生徒の解答の状況に着目する。

- 解答類型1 (正答) の生徒
- 解答類型3 の生徒

今までの体験や読書の経験と結び付けて、〈その本を選んだ理由〉を具体的に書けていない。

① 読書傾向について友達と情報交換する。



教師

互いの読書傾向について情報交換しましょう。特に、なぜその本を読むようになったのか、そのきっかけや理由について具体的に話しましょう。



私は、小さい頃田舎で見た星空が忘れられなくて、星に関する本を見付けると手に取ってしまいます。「銀河鉄道の夜」を読んだのも、銀河に引かれたからです。

テーマを決めて読んでいくのも面白そうですね。私は今までファンタジーをよく読んできたけれど、テーマを決めて様々なジャンルの本に挑戦してみようと思います。私は動物が好きなので、動物をテーマに本を探してみたいです。



② ①で情報交換したことを基に、これから読みたい本について考える。



友達からの情報や教科書の読書案内などを参考にブックリストを作りましょう。学校図書館の本を実際に手に取ってみたり、インターネットから情報を得たりするのもよいですね。

(ワークシートの例)

☆ 「これから読みたい本」のブックリストを作りましょう。

No.	書名 (著者名)	出版社 (出版年月)	選んだ ポイント	読んだら一言	読み終えた日
1	わがはい 吾輩は猫である なつめ そうせき (夏目漱石)	□□社 (〇〇年〇月)	ア		
2	あさひやま 旭山動物園物語 ふるだてけんじ しづかのりあき (文 古館謙二/写真 篠塚則明)	□□社 (〇〇年〇月)	ウ		
3	ゾウの時間ネズミの時間 (本川達雄)	□□社 (〇〇年〇月)	オ (新書を読 んでみたい。)		

【選んだポイント】

- ア 書名や著者名
- イ 表紙や帯、目次などに書かれている情報
- ウ 読書案内や書評などからの情報
- エ 友達や家族からの情報
- オ その他 (理由を簡単に書きましょう。)

☆ ブックリストに挙げた本を選んだ理由を書きましょう。

- ・ 今までの体験や読書の経験と結び付けて書く。
- ・ 友達との交流と結び付けて書く。



私は、今までファンタジーを中心に読んできました。けれども、この交流を通して、テーマを決めて読むことの面白さに気付きました。私は動物が好きなので、「動物」をキーワードに様々なジャンルの本を読んでみたいと思い、動物のことが書かれていそうな本や、書名に動物が出てくる本を選びました。まずは、以前読んで楽しかった『坊っちゃん』と同じ作者が書いた『吾輩は猫である』、新書のコーナーで見付けた『ゾウの時間ネズミの時間』を読みたいです。



〈第3時終了後の教師の分析〉

ワークシートに書かれた内容を分析する。

授業前に分析した「解答類型3」に該当する生徒が、今までの体験や読書の経験と結び付けてワークシートに記述できているかを確認し、生徒の学習の状況を評価する。

【留意点】

- リストに挙げた本を読む時間を確保するために、一斉読書の時間や休み時間を活用するよう助言したり、第3時から少し時間を空けて第4時を設定したりすることも考えられる。
- 自分の読書傾向を振り返ることができるように、3学年を通して読書記録を付けさせておくことが有効である。